

日本人の海外経験重視を

高井伸夫弁護士の

人事労務

散歩道



終

企業の採用に関連しては、これを推進する
これからの日本のあり方しか道はないのである。
を大いに左右するTPP 確かに反対意見が主張
(環太平洋戦略的経済連 するよう、TPP参加 優秀な人材が集まり、世
携協定) 参加問題につい によって日本 が被る不利益
ても少し言及したい。こ も看過できな
れは、吉崎達彦氏(双日 総合研究所・副所長)が いことは承知
指摘するように、「アジ している。し
ア太平洋地域における経 かし、たとえ
済圏構築とは、『TPP 日本が寒風に
参加のメリットとデメリ さらされてイバラの道を
ット』などといったレベ 歩むことになったとして
ルの問題ではない(20 も、日本が国際社会で生
11年12月2日付産経新 き残るためには、これに
聞)のであって、日本と 耐えて、苦難を克服しか 1年12月)では、TPP わらず参加せざるを得な

これからの採用(終)——国際人材比率をアップ

TPP参加は不可避

世界に通用する企業築け

交渉の21分野のひとつである「労働」の主な論点
ある「労働」の主な論点 とが日本としての道義・
は、「貿易や投資のため 道理・道徳に適合している
に労働基準を緩和しない こと等について定める」
こと等について定める」 となつてはいるが、実際に
交渉がどのように展開す るか予測できない。
日本企業は、日本の人 口が減少の一途を辿るこ
とを踏まえて、市場を求 めて世界に羽ばたかな
る必要がある。
それには、国際経験の ある人材を人事評価等の
面で厚遇する ことが最も効
果的の方途で であろうが、こ
れを新卒採用 できない。
同社の田邊耕二社長は 雑誌のインタビューで
「自動車産業の仕事は、 数年で5分の1になる」
と改善すべきは能力のあ る人の意欲を阻害する風
土だ」等々述べているが
(WEDGE)2011
年10月号、経営者のこ
うした強い危機感の下、海
外での事業展開をどうす
ればより実効性あるもの
にできるのかという視点
から、先述の採用制度に
迎り着いたのであろう。
日本企業には、日本文
化のDNAとしての緻密
さ・繊細さがある。グロ
ーバル化のなかで、日本
独自の文化や価値観に磨
きをかけながらも、異文
化を深く理解し海外で活
動できる優秀人材を多く
有する企業だけが、結局
は競争を勝ち抜ける。

界の企業に伍していける なければならない。しかも自
らに属している。自動車部品メーカー
のユーザーは、新卒採用
の比率を高める傾向がめだ
つようになってきたが、
さらに今後は、日本人に
も海外での国際的な経験
を求める必要がある。
それは、国際経験の
ある人材を人事評価等の
面で厚遇する
ことが最も効
果的の方途で
であろうが、こ
れを新卒採用
できない。
同社の田邊耕二社長は
雑誌のインタビューで
「自動車産業の仕事は、
数年で5分の1になる」
と改善すべきは能力のあ
る人の意欲を阻害する風
土だ」等々述べているが
(WEDGE)2011
年10月号、経営者のこ
うした強い危機感の下、海
外での事業展開をどうす
ればより実効性あるもの
にできるのかという視点
から、先述の採用制度に
迎り着いたのであろう。
日本企業には、日本文
化のDNAとしての緻密
さ・繊細さがある。グロ
ーバル化のなかで、日本
独自の文化や価値観に磨
きをかけながらも、異文
化を深く理解し海外で活
動できる優秀人材を多く
有する企業だけが、結局
は競争を勝ち抜ける。

本コラムは、ご執筆者
の都合により今回で終了
となります。